

学生懇談会

日時：2025年12月3日（水）12：40～13：15

司会：森本一彦（密教学科教授）

参加者：密教学科4名（1～4回生1名ずつ）

意見・感想

授業については、難しいということはないとのことである。授業によっては眠くなるものもあるが、全体的に問題はない。仏教・密教という学問は、後に深まってくるものだと考えている。

密教学基礎ゼミについては、試行錯誤しているのか、密教・仏教についての説明であったり、レポートの書き方であったりと、一貫性がみられない。そのために、何のためにしているのか目的・目標が見えにくい。基本的には、レポートの作成方法が最低限の目標と考えられるが、教員による差があり、出席率にも影響している。現在は、全体で授業をしており、座席はクラスごとになっている。クラスごとの差がでないのが、良いが、少人数制の良さがなくなっている。教員の専門が生きていない。

密教学演習の開講数が少なく、専門が偏ってるのではないか。3回生は5講座しかかきこうされていない。もっと選択肢を増やして欲しい。

施設環境としては、夏の温暖化の影響で暑すぎるので、クーラーを設置して欲しい。食堂の暖房が壊れているのか、寒いので対応をしてほしい。

自動販売機については、飲料水のものしかないが、パンなど食品の自動販売機を設置して、テイクアウトできるようにして欲しい。

法衣に着替える必要がある授業があるので、本館に更衣室を設置して欲しい。道場や体育館には、更衣室があるが、遠いので、利用しづらい。

教室の電灯で、一部LEDになっているものがあるが、明るさが違うので、全部LEDに変えて欲しい。⇒司会から法律で蛍光灯の生産が中止になるので、最終的にはLEDになる旨の補足説明をした。

寮が遠く、部屋数が少ない。男子寮についても検討すべきではないか。

図書館の開架に配架されている図書に偏りがあるのではないか。また、開館時間が短い上に、長期休暇の開館期間の開館日数が少ない。特に卒業論文の執筆に影響を与えているのではないか。学生ボランティアなどを募り、協力を要請してはどうか。図書館の椅子が木製で座り心地が悪い。

（文責：森本一彦）